

第15回市民文化ホール建設委員会議事概要

日 時	平成 24 年 5 月 24 日(木) 19 時 00 分～21 時 30 分
場 所	福祉会館 3 階会議室 2
出席者	<p>委員 土井健司、徳永幸夫、阿部秀信、石川久、井上仁、近藤達之介、齋藤正、四国中央署、鈴木千明、高橋華子、高畠澄江、土谷浩也、藤原達也、古川静江、星川将一、守谷一郎、守谷和久、鈴木延寿</p> <p>事務局 利藤企画財務部長、河村市民文化ホール等整備課長、田辺課長補佐、今村課長補佐、中山係長、加地係長、福田係長、佐藤、加地市民交流課長、戸田こども課長、吉岡建築住宅課長補佐</p> <p>空間創造研究所 米森氏</p> <p>日建設計 江副執行役員、山本主管、小野主管、佐賀</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	

(協議概要)

項 目	協議概要
■会議の成立について	○委員長:委員 25 名中 15 名出席。過半数の出席を確認したので委員会は成立。
■会議の公開、非公開について採決	○委員長:本日の議題が「基本設計について」であり、非公開とする議題ではないので公開といたします。
■本日の議題について	<ul style="list-style-type: none"> ・協議内容について ・基本設計(配置計画)について ・基本設計(外構計画)について ・基本設計(小ホール設計方針)について
■第 14 回議事概要と公表資料について	○事務局:第 14 回議事概要と公表資料について説明。
■協議内容について説明	○事務局:本日の協議内容について提案及び説明。
■配置計画について	○日建設計:前回提示したB案、C案に加え、C´案を提示。それぞれについてホールとセンターの距離関係、芝生広場の広がり・使い勝手、北側駐車場との関係という視点で比較検討。

	<p>・C´案は、大きな括りでは配置C案と同様であり、設計者なりに改善したものと捉えて頂きたい。ひとつづくりセンターの形状をより扁平なものとして、両施設間の離隔を広げた案。</p> <p>・各案説明。(配布比較資料による)</p> <p>○委員長:C´案は前回の委員会でのどのような意見を反映したのか?</p> <p>○日建設計:C´案はC案の弱点を和らげるために作成したもの。両施設間の距離感を大きくし、駐車場からひとつづくりセンターを見たときの正面性をより高めた。</p> <p>○委員長:C案では芝生広場に比較的樹木が多く、芝生広場としての印象が薄いのではないかとこの意見があったため、市民文化ホールとひとつづくりセンターの間を大きく取って駐車場側を木のない芝生広場としているのではないか。</p> <p>○日建設計:その通り。</p> <p>○委員長:C案について駐車場が国道から視認しづらい点を懸念されているが?</p> <p>○日建設計:駐車場に向かうときは駐車場が進行方向に開けていないと、サインのみで判断することになる。国道を通過するときも駐車場が認識できるよう間の距離を十分にとることは、駐車場の利用を高めることになる。</p> <p>○委員長:C´案では、地域住民による土手の通り抜けも可能になるか?</p> <p>○日建設計:そういった利用も運用によって十分可能。</p> <p>○委員:C´案が良いと思う。懸念されるのは、車路がひとつづくり支援センターの角を回る際の視界が悪いこと。改善を要望する。</p> <p>○委員:ひとつづくりセンターの設計者は未定であるので、こういった造形となるかも未定では?</p> <p>○日建設計:全体計画のなかでの位置づけとして、ひとつづくり支援センターがこうあってほしいという大枠の指針を示している。今後ひとつづくり支援センターの設計者が設計を進めるなかで形状等を微修正していくことはあるとは思いますが、ホール・ひとつづくり支援センター・駐車場と三位一体の計画である必要がある。</p> <p>○委員:センターの設計者に自由度を残すよりも、円形のモチーフに計画を引っ張って行っている印象があるが。</p> <p>○日建設計:ひとつづくり支援センターの設計者の判断によるが、全体のゾーニングとして、ホールとセンターが互いに呼応するようなものであってほしいという思いがある。</p> <p>○委員長:ひとつづくり支援センターの担当課とホールの担当課は密にコミュニ</p>
--	---

ケーションをとっているため、先々トラブルになるようなことはないと思う。

○こども課長:

・5/8にひとづくり支援センターの担当課であるこども課、学校教育課、産業支援課の3課で協議を行った。

・発達障害を持ったこどもが増えており、発達段階に応じた専門の療育を受けることを当センターで行いたい。同じ敷地に建つのであれば、隔離するのではなく、ホール利用者とセンター利用者が共生して使えるようなものを目指すべきとの意見が出た。

・発達障害時は一般のこどもよりも予期せず飛び出すケースが多く、子供が出てくる前に車が通行する配置は避けたい。車道が東側を回り込む配置であれば、前面の芝生が屋外療育の場として利用でき、文化ホールの利用客とも共生できるのでは。

・内部設計はまだ未着手であるが、文化ホールと異質なものとより、ホールの雰囲気に合わせていくべきと考える。

・事業規模より25年度設計、26年度施工でもホールとの同時完成は可能と考えている。

○委員:ひとづくり支援センターへのバスによる送迎を考慮した配置とすべき。

○委員長:入口の位置も検討の必要がある。車路が屈曲する位置の形状は検討をお願いしたい。

○委員:ホールとひとづくり支援センターの設計が別のものとのことだが、「古井池」全体を設計するほうが形状も利便性もいいものができるのでは。なぜ別の設計、別の建物になるのか?

○委員長:行政の縦割り構造による。ただし、それが阻害にならないよう、他部門の行政の方も出席されて議論がなされている。

○委員:ユーホールの南の駐車場は何台?

○日建設計:260台。

○委員:

・催事の際は周辺の駐車場も使うことになると思うので、出入り口を南側のみではなく西側・北寄りにも設置することを検討頂きたい。

・B案はあり得ないと思う。駐車場が国道から見えないでも誘導さえできれば大丈夫。

・ロータリーは必要か?入口付近で渋滞するのでは。

・芝生広場はイベント利用を想定しているが、ロータリーで遮断されるのでは。

○日建設計:利便性を考慮するとタクシー等での乗り付け等、ホール正面から車が寄りつけるようにしておくべきと考えた。

	<p>○委員長:ある格以上のホールとなると通常ロータリーがある。</p> <p>○委員:今回の基本構想は外構のイベント利用を重視しているが、ロータリーがこれの障害になるように感じられる。</p> <p>○委員:敷地南東隣地(墓地)を買収し敷地として利用しては?動線の問題も解決するように思うが。</p> <p>○事務局:隣地の買収は今のところ考えていない。また、国道と市道の切り込み位置の移動も伴うので、この場では回答できない。</p> <p>○委員長:車のためのロータリーではなく、乗り入れも可能だが平常時は別の利用の空間としたほうが良いのでは。</p> <p>○委員:ロータリーが必要な場合とはどういう想定か、詳しく説明を。</p> <p>○日建設計:メインの正面よりホールにお迎えする設えを作っておかないと、お客様が来られた時の対応がしにくいのでは。普段は車路としては閉鎖しておく等方策はいろいろとある。</p> <p>○委員:建物本体の地下にお客様を誘導しては。</p> <p>○日建設計:地下のルートでもいいが、堂々と真正面からお客様を迎えるルートはやはり必要と思う。</p> <p>○委員長:円形の形状は催事にも活用できる。普段はバリカー(車止め)等で封鎖し、必要に応じて車で通行できるようにしておくというデザインを検討願いたい。</p> <p>○日建設計:たまの通行であればここを芝生にすることも可能。</p> <p>○委員:車に乗ってこない人が来やすくなるような設備があった方が良い。</p> <p>○日建設計:タクシーの乗り付けを考慮すればロータリーが必要では。また、バスの利用も可能。</p> <p>○委員長:公共交通を使ったアクセスも将来的には考えられる。そのために、ロータリーの設置意義がある。今回は交通アクセスについては、検討項目の対象外となっているので、市のほうで考えていただき、公共交通でもアクセスできるという方策を考えてほしい。</p> <p>○委員:ロータリーを南側にずらし、芝生広場を広げては。</p> <p>○委員:ひとづくり支援センターの設計の際、芝生広場側に建屋が寄ってくる可能性は?また、マイクロバスでのセンターへの乗り付けへの配慮は?</p> <p>○委員長:センターの方でこれからそういったことを検討していく予定。センター側からの要請で芝生広場側に建物が寄ってきた場合、ロータリー位置は柔軟に考えて頂きたい。</p> <p>○委員長:配置計画はC'案を中心として進めていくことでよろしいか? (他委員異議なし)</p> <p>C'案を進めてください。</p>
--	---

■外構計画(池の要否)

○日建設計:資料説明(配布資料による)

○委員:池は要らないとの意見が多かった。浅いとは言え、何らかの事故が起こる恐れがある。基本構想では景観はあまり重視していない。外構を芝生化すれば遊具を設置でき、親子連れが訪れるようになる。こうしたスペースで常に何らかの催事が行われている状態を運営的に作っていききたい。運営上は池の存在はマイナス。

○委員:親水公園がある場所は子供の遊び場としていい。また、能の観覧用に舞台の前だけ水が抜けるようにしてはどうか。

○委員:学校や幼稚園の芝生化が進んでいるが、水辺を作るのは他では難しい。すべて芝生とするのは惜しいのでは。水辺での精神的な癒し、教育的な効果もある。水辺というなかなか作れないものを、あえてこの機会に作っては。

○委員:親水性・癒しという観点では、循環している以上、本物の水ではない。飲める水質でもない。また、季節性も高い。初夏はいいが、冬場は近寄りたくない。また、歴史性に関しては、それを語るのであればそのまま残しておいてほしい。この大きさでは足りない。(土手を残すことで池の記憶を残すことになるのでは)

○委員:人が集まるスペースを作ろうという基本構想であった。建屋の中に人が集まるスペースが少ないので、外部に人を集める場所を作るべき。池はちょっとした水場を設ければよいのでは。

○委員:場所の歴史性は今回に限ってはあまり意味がない。第一義に考えるほどの歴史性はないのでは。歴史性を「水」という形以外で、モニュメントとしても残していけるのでは。

○委員:水盤がないと、外観上退屈になる。水盤がないと建物のスケール感や内部からのガラス越しの風景が変わってくる。水盤があった方が良く思う。

○委員:池はあった方が良く。結界として、非日常の中で芸術・文化を楽しむゆとりが取れる設えとすることが重要では。

○委員:古井池の西・南には湧水があった。池を残したら水の神様も喜ぶのでは。

○委員:「恋池」を婚活のイベントにも使える。

○委員:運用面を考えると、いろいろな仕掛けができるスペースを確保しておきたい。

○委員:イベントは毎日毎日あるわけではない。彼女と池を見ながら愛を語ることのできるような雰囲気のある場所がこのまちには少ないので、そういった場所がほしい。イベント利用は、駐車場でも対応できる。

○委員:駐車場の機能性を最優先すべき。ロータリーの周辺にも駐車場を設けては。池がある部分にも車路を設ければ利便性が向上する。非日常の空間はホールの中だけで十分。

<p>■小ホール設計方針について</p>	<p>○委員：以前ため池のある場所にこだわって美術館を建てたが、それは時間の重層性に魅力を感じたから。今回のデザインには人工性を感じるので、むしろ機能性を重視すべき。</p> <p>○委員：池を残してほしい。駐車場は他の敷地でも代用できる。</p> <p>○日建設計：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントには駐車場部分で広大なスペースがある。ひとづくりセンターとの間にも広大な芝生広場を確保できた。 ・非日常性の演出のためには池は必須。 ・恋池、契川という地名の美しさに惹かれた。 <p>○委員長：池はオプション？デザインとして必要？</p> <p>○日建設計：必要と考える。</p> <p>○委員：安全面は？</p> <p>○日建設計：絶対におぼれないような浅い池で計画している。</p> <p>○委員：ローコストな池はあり得ない。数年後にはメンテナンスを理由になくなるのでは。</p> <p>○日建設計：電気代で月々 2.5 万かかる。芝生広場としてもメンテナンス費用は掛かるもの。</p> <p>○委員長：この件について多数決を行う。池を活かすべきと思う方は挙手を。（挙手多数）</p> <p>配慮すべき点が多いが、池の設置を文化ホールの必須要素として計画を進めて頂きたい。</p> <p>○日建設計：参考資料として配布した芝生駐車場の資料を説明。</p> <p>○日建設計資料説明（配布資料による）</p> <p>○委員：まんなかロビーでイベント利用を想定するならば、小ホールの機能を高め、客席を固定式としたほうが良いのでは。基本は固定の音楽ベースでの設計を。やや袖が狭いのでは。</p> <p>○委員：「音楽」の想定はどのようなものか？</p> <p>○日建設計：いわゆる「生楽器による演奏」をここでは音楽と言っている。残響時間はこのキャパシティでは音楽は 1.5～1.6 秒程度、また演劇には 1.0 秒強程度が良いと考えている。多目的利用の場合は、その中間である 1.3 秒程度に設定しておき、音楽時には音響反射板、演劇時には幕等で調整するのが適当。</p>
----------------------	--

○委員：固定席とした場合、展示会のスペースとしてどれだけスペースが確保できるのか？プロポ時は大小リハーサル室があったが？

○日建設計：プロポ時は大小リハーサル室を合わせると小ホールの平土間と同じ大きさの空間が並ぶため、リハーサル室を大小に区切っていた。今回は小ホール客席の固定化の提案であるので、リハーサル室一室で提案した。また3階会議室も一室とすれば小ホール同等の大きさとなるので、展示会利用が可能。

○委員：展示会ではフロアが違うよりも、並べて複数の室がある方が望ましい。まんなかロビーと合わせて閉じた部屋を用いると、展示会に広がりが出る。大楽屋の展示利用もできるのでは。展示会利用が十分にできるのであれば、小ホールの客席の固定化はぜひ行ってほしい。

○委員：小ホールにおいて壁面からパネルを引き出して展示用に使う利用はできるのか？

○日建設計：固定客席の場合は相応しくないが、リハーサル室では展示利用が可能な設えとして対応可能。

○委員：固定席と可動席でコストはどれだけ差が出るか？

○日建設計：経験値から平土間化の装置として、ロールバックチェア(200席分)と昇降迫り+移動客席ワゴン(100席分)の方式の場合で1.5億~2億円程度のコストが必要。

○委員：音楽の定義を大きいところとらえた判断が必要。

○委員：市民の日常利用が多くなることを想定すると、さほど高級なレベルの音響上の配慮が必要なわけではないが、ある程度の質は確保すべき。

○委員：2つの市民会館の利用調査では圧倒的に音楽利用が多かったように記憶している。

○委員：現状の市民会館ではできないことが沢山あったから、結果、音楽利用が多くなったという一面もある。

○日建設計：議論の中での「音楽中心」のホールとは、「音楽を中心とした多目的ホール」という認識で間違いないか？

○委員長：その認識で間違いない。

○委員：「リハーサル室があるからそこを平土間利用に転用」という考えでは貧しいのでは。

○委員：小ホールの平土間利用よりもリハーサル室を展示に利用した方が、はるかに展示には向いている。

○日建設計：小ホールは壁面に木製のリブの付いた意匠になるので展示には向かない。リハーサル室の方が展示に利用しやすい仕様になっている。

○委員：順番として大・小ホールの性能を決めた後でリハーサル室・会議室の検討がなされることになる。後で検討される展示スペースが貧弱にならないことが担保されているのであれば、小ホールの客席を固定化する方向で構わないと思う。

<p>■その他</p>	<p>○委員：市民の習字や絵画など、市民目線の展示を想定すれば、スペースは十分にある。高級な美術品の展示までは想定されていない。</p> <p>○委員：芸術作品を鑑賞できる機能も確保される必要があるのでは。</p> <p>○委員：「本物の絵画」を鑑賞するにはそれなりのスペースが必要であり、今回はあきらめざるを得ない。</p> <p>○委員：壁面や会議室等に展示物を掛ける仕掛けをつくってほしい。</p> <p>○委員長：小ホールは、「多機能でありながら音楽に特化したホールで、固定席とする」という方針でよろしいか？</p> <p>（他委員異議なし）</p> <p>結論が出たのでそのようにお進めください。</p> <p>○事務局：建設委員会の議題は、別紙様式並びにメールにて委員の皆様からも提案を頂きたい。事務局で精査して、建設委員会の協議議題に提案したいと考えている。</p> <p>○委員：寸法入りの図面もしくはスケールバー入りの図面をお願いしたい。</p> <p>いつ頃バーチャルリアリティを使用するのか？</p> <p>○日建設計：早くて7月の会議、もしくは8月の会議にて提示予定。</p> <p>次回、永田音響設計の担当者により音響の説明を行う予定。</p> <p>（閉会）</p>
-------------	---